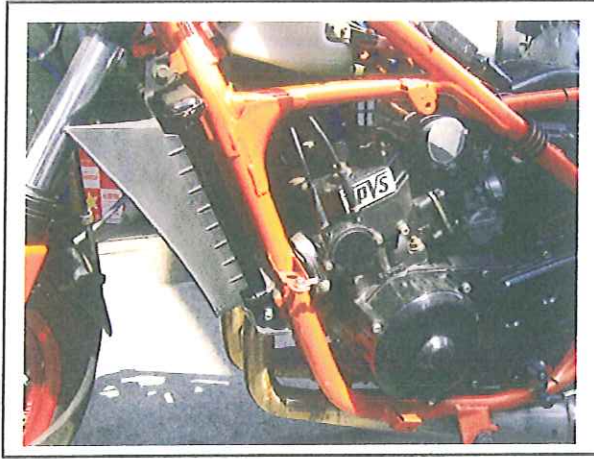


改造部分詳細図



原動機積載画像

改造部分詳細説明

29L型原動機から29K型原動機に変更する。
29K型原動機はヤマハRZ350RRの物を使用する。

乗せ換えに関しては、
RZ250RR（型式29L）とRZ350RR（型式29K）が
同形状フレーム（同一品番 51L-21110-00-FH）
同形状クランクケース（同一品番 29L-15100-02）である。
このため、無加工で乗せ換える事が出来る。
（別紙 パーツリスト 参照）

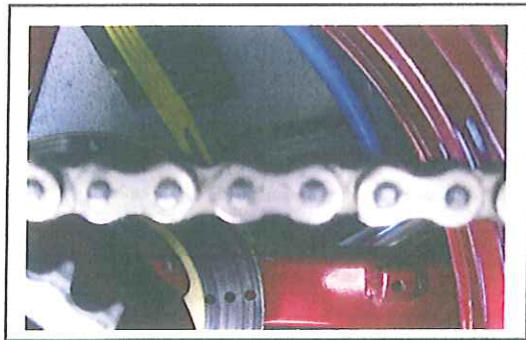
尚、増大する出力に対応する為に駆動系を
使用原動機純正部品、もしくは同等品にて対応する。
（別紙 動力伝達装置、強度検討書 参照のこと）

動力伝達系 強度検討書

ドライブチェーン・前後スプロケットは、
RZ350RR（型式29K）の純正もしくは純正同等品を使用した。

ドライブチェーンは
29L型原動機の付いている車両RZ250RRと
29K型原動機の付いている車両RZ350RRで
同じ型式（520）を使用しており、強度的にそのままで問題無いと判断する
（別紙 サービスマニュアル仕様諸元写し 参照）

チェーンには大同工業社製の「DID 520VM JAPAN」と
表記されており、現在取り付けられてる種類は「520」と判断出来る。
（別紙 大同工業車種適合表 参照）

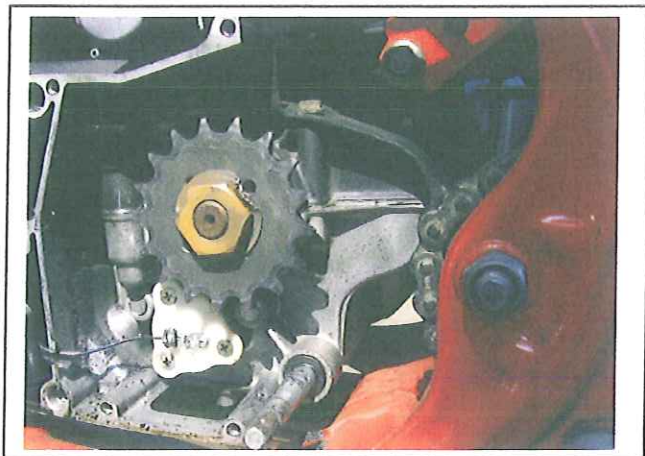


チェーン車両装着画像

前後スプロケットはチェーン型式が同じであるためそのままで問題無いと
判断したが、減速比が違うため29K原動機に合わせて
RZ350RR純正同等品に交換した。

フロントスプロケットには「21301F17N」の
表記があるが純正品番と一致しない。
このためRZ350RR用と証明する事は不可能である。
この証明は検査官の支持を仰ぐものとする。

（以下次頁へ続く）



フロントsprocket車体装着画像



フロントsprocket画像

リアsprocketには「39」(丁数)の表記しか無いため
RZ350RR用と証明する事は不可能である。
この証明に関しては検査官の支持を仰ぐものとする。



リアsprocket車体装着時画像



リアsprocket画像